

令和3年度特別会計決算

特別会計は、特定の事業を行う場合や特定の収入により事業を行う場合、その事業に係る経理を一般会計と区別する必要があるため、条例により設置している会計です。

国民健康保険特別会計

収入	15 億 7824 万円
支出	15 億 1656 万円

主な収入は、国民健康保険税 2 億 2906 万円、県の補助金 11 億 3049 万円、一般会計からの繰入金 1 億 3225 万円です。主な支出は、医療費 10 億 8779 万円、国民健康保険事業費納付金 3 億 8226 万円などです。

国民宿舎特別会計

収入	7731 万円
支出	7617 万円

主な収入は、一般会計からの繰入金 7220 万円です。主な支出は、大浴場や自動火災報知設備、トイレ設備などの改修工事費 6911 万円、Wi-Fi 設置業務委託 336 万円です。

後期高齢者医療特別会計

収入	2 億 4301 万円
支出	2 億 3453 万円

主な収入は、加入者が納めた後期高齢者医療保険料 1 億 6969 万円、一般会計からの繰入金 6492 万円です。主な支出は、後期高齢者医療広域連合納付金 2 億 2536 万円です。

公共下水道事業会計

収益的収入	7 億 2006 万円
収益的支出	6 億 9672 万円

資本的収入	1 億 55 万円
資本的支出	2 億 8197 万円

主な収益的収入は、下水道使用料 3 億 4895 万円、一般会計からの負担金と補助金 1 億 2169 万円です。主な収益的支出は、管渠やポンプ場、浄化センターの費用 2 億 1273 万円、企業債利息 1295 万円です。

主な資本的収入は、国庫補助金 5000 万円です。主な資本的支出は、中ノ浜ポンプ場水処理設備等建設工事委託 5846 万円、企業債元金償還金 1 億 5204 万円です。

給食センター特別会計

収入	1 億 3815 万円
支出	1 億 3671 万円

主な収入は、給食費収入 5968 万円、一般会計からの繰入金 7632 万円です。

主な支出は、給食材料費 5772 万円、そのほかは、委託料、光熱水費、人件費などです。

モーターボート競走事業会計

収益的収入	1470 億 3091 万円
収益的支出	1410 億 3567 万円

資本的収入	0 万円
資本的支出	15 億 6553 万円

主な収益的収入は、芦屋本場開催の発売金などの開催収入 979 億 6448 万円、他場開催の発売金などの場外発売受託事業収入 490 億 4504 万円です。

主な収益的支出は、売り上げに伴う払戻金や交付金、選手賞金などの開催費 874 億 1704 万円、他場開催の払戻金などの場外発売受託事業費 480 億 405 万円です。主な資本的支出は、投票機器のリース料や施設の改修工事などの建設改良費 15 億 6466 万円です。

地方独立行政法人 芦屋中央病院貸付金特別会計

収入	4 億 7750 万円
支出	4 億 7750 万円

芦屋中央病院の町債の借り入れや、借り入れた町債の返済を行うための会計です。

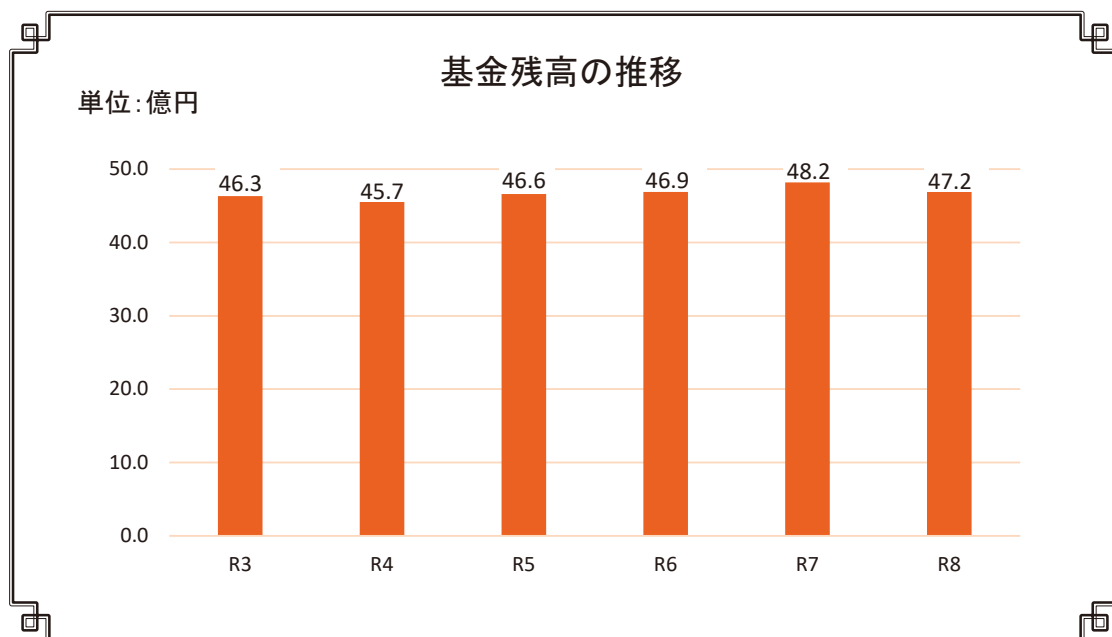
主な収入は、医療機器整備のために借り入れた町債 2860 万円です。主な支出は、町債の返済費用で 4 億 4890 万円です。

今後5年間の財政運営の見通し

(財政シミュレーション)

財政シミュレーションとは、今後の町の財政運営がどうなっていくのかを令和3年度決算と令和4年度決算見込額の数値を参考に、一定の設定条件のもと作成したものです。

このなかで、町の貯金にあたる「基金」がどのように推移していく見込みであるか説明します。



■5年後の基金残高見込みは 40 億円を確保

基金残高の推移をみると、令和8年度末は40億円を確保する見込みです。

■昨年度シミュレーションとの比較

今回作成した財政シミュレーションと昨年度作成したものを比較してみると、令和8年度末の基金残高は約2億5千万円増加しています。

増額の主な要因として、モーターボート競走事業収入の増加などが挙げられます。

■芦屋町の基金残高は比較的多い (令和2年度決算)(※1)

芦屋町の標準財政規模(※2)に対する基金残高の割合は、91%です。

福岡県内60市町村で90%を超えているのは22市町村なので、芦屋町の基金残高は比較的多いといえます。

基金残高が多い理由のひとつとして、モーターボート競走事業収入が挙げられ、この収入は令和8年度まで継続して見込んでいます。このため、今後も90%前後の見込みで推移することから、引き続き安定的な財政運営ができるものと判断しています。

(※1) 福岡県が公表している最新の決算情報は令和2年度分です。

(※2) 標準財政規模とは、地方公共団体の一般財源の標準的な規模のことで、経常的に収入しうる一般財源の大きさを表します。